



にし はし 虹のかけ橋

PTA講演会「命を守る底力」とは？



7月13日(木)はPTA授業参観日でした。多くの保護者の方々が子どもたちの頑張る様子を参観してくださいました。誠にありがとうございます。子どもたちは、いつも以上に張り切って学習に取り組んでいましたね。

今回は総務部主催の講演会もありました。秋田県防災アドバイザーの五十嵐恒憲(こうけん)先生から、「家と学校で育む『命を守る底力』」という演題でお話をいただきました。

先生は由利本荘管内で高校の先生をしておられましたが、東日本大震災をきっかけにご退職なさり、東由利のお寺で住職として勤めておられます。ぜひ、これからの子どもたちに身に付けさせたい力として、



- ①自分で選択する力
- ②相手の気持ちを大切にできる力
- ③困ったときに周囲に助けを求める力



の3つを挙げておられました。災害に対して備えをすることよりも、行動する力(その瞬間身を守る行動をすること・実際に逃げたり避難したすること)の大切さを強調しておられました。そのためには、「避難情報ガイドライン」「ハザードマップ」などを事前に見ておいて、リアルタイムに情報を得るには「特務機関NERV防災」が便利であると教えていただきました。とてもためになったなあ…その時は漠然とそう考えていたのです。

まさに、その2日後が15日(土)の集中豪雨です!秋田市内的様子は全国ニュースで流され続けました。岩谷小の学区でも避難指示が出された町内があります。被害はありませんでしたか?

学校裏手の芋川の様子は、ふだんの姿とはまるっきり違うものでした。右の写真2枚は、同じ場所から撮影したものです。川岸のすぐ近くまで水量が増え、今にも氾濫しそうな勢いです。被害を食い止めるために、消防団の方々が一生懸命に作業をしてくださっておりました。



16日(日)朝

市では、水害に備えて護岸整備を行っていますが、自然の力は我々の想定を越えることがあります。五十嵐先生の教えてくださった「身を守る行動をとるために、逃げたり避難したすること」すなわち「行動する力」こそが、「命を守る底力」につながることを身をもって学ぶことができました。



18日(火)朝

たまたますぐにダウンロードしておいた「特務機関NERV防災」が本当に役に立ちました。雨雲の状態、避難指示の状況、河川の様子などいろんなことがわかり、情報更新の度に教えてくれます。保護者の皆様も、ぜひダウンロードしてみてください。

検索 特務機関NERV防災 ※無料です。あらゆる防災情報を教えてくれます。



防犯教室～いかのおすし～

7月5日（水）3校時の授業中、「1・2年生は体育館に集まりなさい。」という短い放送がありました。ふだんの避難訓練であれば、「地震です」「火事です」と前置きして放送するのですが、校内に不審者が侵入したときには、避難する指示しか出さないことになっています。この日は「玄関前を不審者がウロウロしているの、玄関で職員が対応した」という想定でした。

1・2年生が避難した後に、全校で防犯教室を行いました。由利本荘警察署の方に来ていただいて、事件に巻き込まれないように心がけることを教えてもらいました。キーワードは「いかのおすし」でした。意味はお子さんに聞いてみてください。

別室では、男性職員が不審者に対する「さすまた」の使い方を習いました。校内での非常時には、お子さんの安全のために全職員で対応いたします。ただ、学校の行き帰りの場合には、自分で判断して自分の安全を守るしかありません。「いかのおすし」を常に心がけましょう。

青少年育成由利本荘市民会議大内支部様より、コミュニティスクールの活動資金、学校の環境整備費としてお志を頂戴し、代表の東海林さんが届けてくださいました。学校の教育活動のために、大事に使わせていただきます。ありがとうございました。



14日（金）放送委員会による今年最初の児童集会がありました。「もしもこの世界に放送委員がいなかったら…」という寸劇が面白かったですね。1日の様々な時間帯に、放送で全校に連絡する場面は多くあります。マイクの前では緊張するかもしれませんが全校のために、引き続きアナウンスを頑張ってくださいね。



おた十四日（金）粒いに
め元気な女の子が誕生しました。似
でうございます。



赤ちやんを産むたむに
お休みをください。
お詩ひまわりの組だいた
音教諭さんでやす組だいた
にさんまよすが担いた
しにましよすが担いた
似、任てめ

由利出張所長訪問（11日） 市教育委員訪問（19日）

いわやっこたちの授業の様子はいかがでしたか？



指導主事の先生や教育委員会の方々に、全学年の授業を一巡していただきました。参観後にお話いただいたことは、

- 子どもたちは安心して勉強している
- 友だちの話をきちんと聞いている
- 誰かが間違えても、周りがそれを応援してくれる

どのクラスもこんな雰囲気を感じられたということです。とてもうれしく思いました。それこそが、岩谷小が目指している授業中の子どもたちの姿なのです。面倒くさがってノートも出さなかったり、飽きて別のことをしていたりする子は1人もいません。この調子で頑張っていきましょう！